

2021年度事業報告書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

特定非営利活動法人 山元・あしたの響き

1 事業の成果 及び 特定非営利活動に関わる事業に関する事項

2015年4月に当法人が里山・深山（しんざん）の頂上に建立した鎮魂の鐘には、今年も多くの来訪者があって、東日本大震災の犠牲者を悼んで鐘を鳴らしたが、昨年初頭より世界的に蔓延した新型コロナウイルス感染症のため、昨年同様、例年のような催事は中止のやむなきに至った。それでも深山鎮魂の鐘や深山登山道、そして「みちのく潮風トレイル（山元ルート）」の管理や整備等については、例年と変わらず怠りなく遂行できた。

なお本年度の主だった活動として、個人篤志家の寄付（費用負担）による「ああ深山の鐘」の歌碑の制作と設置が挙げられるが、その他を含め、当法人が関わった事項はおおよそ次の通りであった。

(1) 深山鎮魂の鐘の運営と維持管理に関する事項

a. 歌碑の建立

当法人理事長・長岡の作詞による鎮魂の鐘のイメージソング「ああ深山の鐘」は、歌手さとう宗幸氏の好意によって作曲と歌唱がなされ、すでに多くの人々の評判を得ているところでもあり、歌碑の建立が懸案となっていたが、9月25日の理事会の決議により、長年にわたり寄付を続けてくれた三島市・小島善明氏のご尊名を歌碑寄贈者として刻むことの意義が認められ、制作と設置が実現した。設置終了は2021年12月6日であった。

主材料は歌詞部を陶板、本体部を枕木使用とし、予めYouTubeにアップロードした歌の動画をQRコード化して埋め込み、来訪者がスマホを通じて試聴できるようにした。

- ・デザインと制作（レタリングを含む）：NPO 法人 山元・あしたの響き
- ・規模：全長2100mm（地上部1200mm/地下埋設部900mm）幅900mm
- ・歌詞陶板制作：岐阜県/自然派倶楽部
- ・制作協力：山元町/仙南ベニヤ(株)
- ・作業場提供：山元町/中村建築
- ・設置場所：山元町深山頂上鎮魂の鐘南隣り
- ・設置場所提供：山元町山寺行政区
- ・歌碑搬送と設置穴掘削：山元町/三輪林業・当方2名・ボランティア4名
- ・埋設材料追加搬送及び設置：三輪林業・当法2名
- ・総工費：約260,000円
- ・歌碑寄贈：静岡県三島市/小島善明
- ・製作期間：デザイン/レタリング/陶板業者との打合せ/材料選定等の準備期間を含め、9月中旬より12月初旬までの2ヶ月半以上に及んだ。なお、未完成のまま

の搬送が余儀なくされ、設置現場における寒い日の作業が何日か続いたのは想定外の厳しさであった。

< 歌碑参考図 >



b. 鎮魂の鐘の維持管理

- ・ 各月 11 日に鐘を鳴らしたが、特に大震災から 11 年の追悼の日当たる 2022 年 3 月 11 日には、鎮魂の鐘に来合わせた 30 数名のハイカーと共に、午前 10 時半、鎮魂の鐘の音をバックに 1 分間の黙祷を捧げた。なおこのたびは「3.11 追悼☆世界平和祈願」の垂れ幕を下げ、少時の挨拶も行った。
- ・ 4/15(木)鐘の抑制紐が切れていて結び直す。

< 2022/3/11 大震災追悼 >



- ・7/31（土）鎮魂の鐘ボックス内の記念スタンプ用カード追加 100 枚を、この日を含め 3 回行った。
 - ・8/27（金）今年も新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令されたことを受け、鎮魂の鐘を閉鎖、その旨、頂上と少年の森にそれぞれ貼り紙した。
 - ・9/13（月）鎮魂の鐘封鎖解除。
 - ・12/27（月）鐘のロープが切れていて仮補修。
 - ・12/29（水）鐘のロープ交換。
 - ・1/5（水）頂上あずまの深山ノート交換。
 - ・1/20（木）記念スタンプのストラップ切れて交換。
- ・募金箱（厚情の箱）回収は 5/11、7/23、10/21、12/23、3/11 の 5 回行い、合計 81,403 円であった。

c. 宣伝活動

- ・深山鎮魂の鐘と、それがよって立つ深山の魅力を広く発信して、より多くの訪問者を引き付け町の発展に寄与するために、当法人の公式ブログ《ブログ あしたの響き》への投稿更新を随時行い、季節の草花や登山道情報など、動画を交えて紹介し、日々350 件以上のアクセスを得ている。また現在までの総アクセス数は 72 万件に及んだ。

（2）深山頂上・遊歩道・みちのく潮風トレイル等の管理・整備に関する事項

a. 道標及び看板の制作設置

- ・とんちゃん山の看板制作設置（6月）
- ・深山頂上の看板の化粧直し（8月）
- ・みちのく潮風トレイル・石堂山の看板制作設置（8月）
- ・亀石の看板制作設置（9月）
- ・鷹討山南側・カオルの見晴し台看板制作設置（9月）

なお、とんちゃん山の看板に関しては、たかうちコースの烏森の手前、渡辺文彦氏の所有になる梅園の通過地点への設置。

ハイカーの迷いやすい地点で

もあるので、渡辺氏所有の廃材を利用して制作設置したもの。また看板設置に際して渡辺氏よりパワーショベルによる設置穴の掘削支援を受けた。



b. その他の作業

倒木処理・刈払い作業・水捌け改良作業など、都合 26 回、延べ時間 38 時間行った。
詳細は次の通り。

- ・ 5/23 明通峠登山口刈払い 2H
- ・ 5/24 (月) 一寸持山の見晴し改善刈払い作業、2*3.5H
- ・ 6/2 (水) 駒返し及び北こぼたけ上、水捌け改良作業、2*1.5H
- ・ 6/6 (日) 少年の森南西部で倒木処理、2*1H
- ・ 7/10 (土) たかうちコース倒木処理 3 カ所、1H
- ・ 7/24 (土) 午後から一寸持山刈払い 2H
- ・ 7/29 (木) 駒返しコース刈払い 0.5H
- ・ 8/1 (水) 頂上倒木処理 0.5H、駒返しコース倒木処理、1H
- ・ 8/6 (月) 国見台からお太鼓峠間の倒木処理等 1H
- ・ 8/6 (木) 午後より駒返しコースの水捌け改善作業 2*2H。
- ・ 8/1 (火) 亀石コースの周辺の倒木などの整理 2*1H
- ・ 9/3 (金) 頂上西側刈払い 1.5H
- ・ 9/5 (日) 明通峠登山口刈払い 2H
- ・ 9/9 (木) 駒返しコースの木橋に滑り止め作業 0.5H
- ・ 9/19 (日) 駒返しコース刈払いと木橋に滑り止め追加作業、1H
- ・ 10/14 (木) 山頂の案内板 2 本、クレンザーで汚れ落とし他、ポールのゆがみ修正 2*1H
- ・ 2/11 (金) 雪で倒れた竹の伐採作業 1H
- ・ 2/12 (土) 雪で倒れた竹ヤブなどの処理、2H
- ・ 2/13 (日) 駒返しコースの刈払い作業 1H
- ・ 2/18 (金) 亀石コースの笹竹刈払い 0.5H
- ・ 3/14 (月) 北こぼたけ水捌け改善作業 0.5H



(3) 他の団体との協同活動

a. 山元町（生涯学習課・少年の森）との共同活動等

- ・5/22（土）町の要請を受け深山頂上倒木処理協力2名、8：30～13：00
- ・5/23（日）たかうちコースの一部、地崩れ予防のための立木伐採に伴う後片付けの追加作業を町に要請していたが、本日修了確認。
- ・5/28（金）13：30、ひだまりホールで少年の森空間デザインワークショップの3回目あり、理事2名出席。駐車場とトイレの増設、それに外周の丸太階段の大規模改修が何より大事と提案。常磐自動車道から目視容易な看板の設置に関しては、深山山麓少年の森と並列で「深山／鎮魂の鐘 登山口」と明記するよう求めた。
- ・8/20（金）午後よりひだまりホールで少年の森ワークショップ4回目あり、理事2名出席。芝のそり遊び場プランについては、マイクロプラスチックの海洋汚染問題の観点から、人工芝ではなく復興芝を使うこと、またトイレの増設は必須であること、管理当局とボランティアの意思疎通を図ることなどを提案する。
- ・3/4（金）役場生涯学習課より、駅から少年の森までの歩行者用誘導サイン設置の説明を受けて了承する。同サインは3月中に設置終了を確認。この道標に、町としては初めて「深山／鎮魂の鐘 登山口」の表示が併記された。



b. 名取トレイルセンターとの協同活動

- ・6/26（土）名取トレイルセンター主催のみちのく潮風トレイル山元ルートの大刈払い作業あり、全17名中、当方3名参加。9：00am.少年の森集合、町のバスで明通峠まで移動、刈払い作業をしながら深山頂上まで。頂上正午丁度ごろ。少年の森下山1：30pm。

c. 報道機関との協同活動

- ・6/15（火）ミヤギテレビ Oh！バンデスで、さとう宗幸氏が「ああ深山の鐘」を熱唱。
- ・1/12（木）ミヤギテレビ Oh！バンデスの取材を受け、小雪の中、理事長、深山に登る。
- ・1/17（月）夕刻、同上の放送あり。Oh！バンデス<震災を次世代に伝える山元町のシンボル>として、鎮魂の鐘と歌碑が紹介される。なお後日、当放映に係るDVD3枚の寄贈を受ける。
- ・1/25（火）東北放送 TBC ラジオの希望音楽会で、「ああ深山の鐘」が、視聴者のリクエストを受けて流される。



d. その他の協働活動

・かねてより、東北地方環境事務所の自然保護官に、みちのく潮風トレイル山元ルート上の道標に「深山／鎮魂の鐘」の表示が欠落していることを指摘、改善を求めていたが、当方の主張が認められ、8/24の仮表示追加に続き、10月までに改善は終了した。



(4) 篤志家の顕彰

4/7（水）2012年に鎮魂の鐘建立に向けて募金活動を開始して以来、長期にわたって寄付を続けてくれた静岡県三島市の小島善明氏を顕彰するため、記念品を添えて感謝状を贈った。なお前述の歌碑については、この感謝状贈呈より半年ほど経てからなされたもの。



小島善明氏への
感謝状と記念品



2 その他の事業の実績

本年度もその他の事業は一切行わなかった。

3 実施体制等に関する事項

- (1) 会計監査：2021年4月4日午後、事務局において、監事2名により、2020年度の会計監査が行われ、すべての会計業務について疑義の無いことが確認された。
- (2) 総会：2021年4月29日（土）13時30分より、つばめの杜ひだまりホール3F和室にて。
 - ・出席者数：正会員総数18名中13名出席
 - ・議事内容
 - a.2020年度事業報告・決算報告の承認、及び監査報告
 - b.2021年度の事業計画・活動予算の承認
- (3) 理事会：2021年9月25日13時30分より、つばめの杜ひだまりホール和室にて開催。
 - ・出席者数：理事8名中5名出席
 - ・議事内容

a. 「ああ深山の鐘」歌碑の建立について

鎮魂の鐘のイメージソング「ああ深山の鐘」の歌碑の建立は、かねてより一部理事からの要請でもあり、当法人としての懸案でもあったが、三島市の小島善明氏による継続的で多大な寄付を反映させた形で、〈歌碑寄贈者：三島市 小島善明〉と刻銘して実際に建立することが提案され、理事長案の通り、本体に枕木使用、歌詞はセラミックに焼き付け、最大予算 30 万円の案で了解される。

(4) 会員に関する事項： 2021 年度末現在、正会員 18 名、賛助会員個人 20 名、同法人 4 件

(5) 役員に関する事項： 2021 年度末現在、理事 6 名、監事 2 名、理事長：長岡久馬

(6) 情報発信体制に関する事項：

《ブログ あしたの響き》 <https://blog.canpan.info/asitano-hibiki/>



Facebook <https://www.facebook.com/npo.asitano.hibiki>

以上

～ 追記 ～

なお参考のため「ああ深山の鐘」の歌碑陶板用原稿と歌のQRコードを付記します。

「ああ深山の鐘」

作 詞：長岡きゆうま
作曲 / 歌：さとう 宗幸

(一)

君はいま
どこを歩める旅人か
どこでほほ笑む旅人か
どこで安らう旅人か
聞こえたら
この鐘の音が聞こえたら
せめて振り向け手を振ってくれ
ああ鐘よ鳴れ 鳴り響け
ここは深山
ここは深山 鎮魂の鐘

(二)

君はいま
頬をかすめるそよ風か
楚々とたたずむ野の花か
空にまたたく星なのか
聞こえたら
この鐘の音が聞こえたら
せめて答えて「ここだよ」って
ああ鐘よ鳴れ 鳴り渡れ
ここは深山
ここは深山 鎮魂の鐘

— 2021年 —

◇ 歌碑寄贈：静岡県三島市 小島善明 ◇